

2020年11月5日

情報取扱責任者各位

株式会社名古屋証券取引所

自主規制グループ長 中村 秀昭

決算短信のHTML化に関する共同実証実験へのご協力について

平素は、当取引所の市場運営に御協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2021年12月を目途とするTDnetのリブレース¹にあわせ、株式会社東京証券取引所（以下、「東証」という。）では、下記のとおり、上場会社の決算短信及び四半期決算短信（以下、「決算短信等」）を従来のPDF形式に加えHTML形式で開示する実証実験を、宝印刷株式会社及び株式会社プロネクサス（50音順。以下、「両印刷会社」という。）と共同で開始いたします。

本共同実証実験への上場会社の皆様のご参加、HTML形式での開示は任意でございます。従来どおりPDF形式及びXBRL形式のみでの開示も可能ですが、ぜひご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

貴社におかれましては、関係各部署への御周知を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

記

1. 実証実験の概要

TDnetでは、決算短信等のうちXBRL化されていない「経営成績等の概況」、「継続企業の前提に関する注記」、「セグメント情報」、「1株当たり情報」及び「重要な後発事象」といった定性的情報の記載について、従来のPDF形式に加えHTML形式での開示を可能とします。あわせて、両印刷会社は、両印刷会社が提供する決算短信等の作成ツール（以下、「印刷会社システム」）を通じて、定性的情報の記載をHTML形式で作成する機能を実装します。

印刷会社システムを用いて決算短信等を作成されている上場会社の皆様は、現在利用されている印刷会社システムにおいてXBRLとあわせてHTML形式のファイルが自動的に作成されることから²、従来のファイルとともにTDnetに登録することで、HTML形式で決算短信等を開示することが可能になります。

本実証実験にあたり、上場会社の皆様の費用負担はありません。

また、本実証実験は、投資家等情報利用者における決算短信等の利用可能性の向上に関する検証を目的としています。上場会社の皆様の本実証実験の参加は任意ですので、従来どおりPDF形式及びXBRL形式のみでの開示も可能です。

¹ 2020年2月3日付「TDnet リブレースのご案内」（名証自規G第4号）参照

² 現在XBRLが収録されている添付ファイル内にHTML形式のファイルが自動的に収録されることを予定しておりますので、HTML形式のファイルを作成いただくにあたり、追加的な作業は不要です。

2. 実証実験のイメージ
別添参照

3. スケジュール

2020 年 11 月	実証実験の公表（本通知）
2020 年 12 月頃	名証及び両印刷会社から仕様に係る通知 ※各社から仕様をご案内します。セキュリティの観点から、両印刷会社における印刷会社システムを通じて作成された HTML 形式のファイルのみを登録可能としますので、作成環境のご準備等は不要です。
2021 年 8 月頃	名証及び両印刷会社から実証実験の運用に関する通知 ※各社から HTML 形式のファイルの作成及び登録方法等をご案内します。
2021 年 12 月	実証実験の開始
2022 年 12 月	一次検証 ※情報利用者、上場会社の皆様といった関係各社からフィードバックをいただき、本実証実験の効果について検証します。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社名古屋証券取引所 自主規制グループ（上場監理担当）
電話：052-262-3174 電子メール：jisyukisei@nse.or.jp